



## 取扱説明書

### 富士オートブレーカ コンパクトツイン

- ・プラグイン形
- ・プラグイン形差込端子式

形式

F52P, F52PNR, F52PNT  
F52Q, F52QNR, F52QNT



### 注意

- ・高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。不要動作、火災、故障の原因となります。
- ・ごみ、コンクリート粉、鉄粉などの異物および雨水などが遮断器内部に入らないように施工してください。接触不良や釈放不良および誤動作の原因となります。
- ・端子は確実に締め付けられていることを確認してください。ゆるんだ状態での使用は火災などの原因となります。
- ・2極1素子形のN極側には、過電流検出素子が搭載されておりませんので、N極側の過電流保護はできません。中性線および接地極側は必ず遮断器のN極表示側に接続してください。火災、故障の原因となります。

### 3. 使用上のご注意



### 注意

- ・本体に記載の定格電圧の元で、定格電流の範囲内で使用してください。定格外の使用は故障、不要動作の原因となります。
- ・過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし回路を遮断します。
- ・自動的に回路を遮断したときは、ハンドルはONとOFFの中間に止まります。回路や機器の状態を点検後、ハンドルを一旦OFF側にリセットし、ON操作してください。事故の原因を取り除かずにハンドルを投入すると波及事故のおそれがあります。

### 4. その他の注意事項

- ・電気機器のアース端子は必ず接地してください。
- ・許可されていない内容での改造は行わないでください。
- ・製品を廃却する場合は、産業廃棄物としてお取り扱いください。

### 安全上のご注意

このたびは富士オートブレーカをお買い上げ頂きましてありがとうございます。オートブレーカを正しく使って頂くため、施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書やカタログなどお読みください。また、本書が最終の使用責任者の元に届くようご配慮願います。

・ここでは、安全上の注意事項レベルを「警告」および「注意」として区別してあります。



### 警告

：取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を受ける可能性があります。



### 注意

：取扱いを誤った場合に、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性、あるいは物的損傷が発生する可能性があります。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

### 1. 特に注意していただきたいこと



### 警告

- ・取付け、取外し、配線作業および保守・点検は、必ず上位の電源を切って電気がきていないことを確認してください。感電および短絡時に火傷のおそれがあります。
- ・端子部に触らないでください。感電のおそれがあります。

### 2. 施工上のご注意



### 注意

- ・運搬方法に指定がある場合は、指定以外の方法で運搬しないでください。また、開梱時に、損傷・変形のあるものは使用しないでください。
- ・電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- ・電源側と負荷側を間違いなく結線してください。火災・故障の原因となります。
- ・製品は取扱説明書の指示に従って取り付けてください。取り付けに不備があると、落下などによる怪我の原因となります。
- ・電線締め付け用端子ねじは、取扱説明書に記載された締め付トルクで締め付けてください。規定範囲外で行うと火災や端子破損の原因となります。
- ・接続する電線や圧着端子は取扱説明書に記載されたサイズのものをご使用ください。記載範囲外でのご使用は、端子破損や発熱、発火の原因となります。

裏表紙につづく

## 富士電機機器制御株式会社

器具事業部

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町5番7号

三井住友銀行人形町ビル

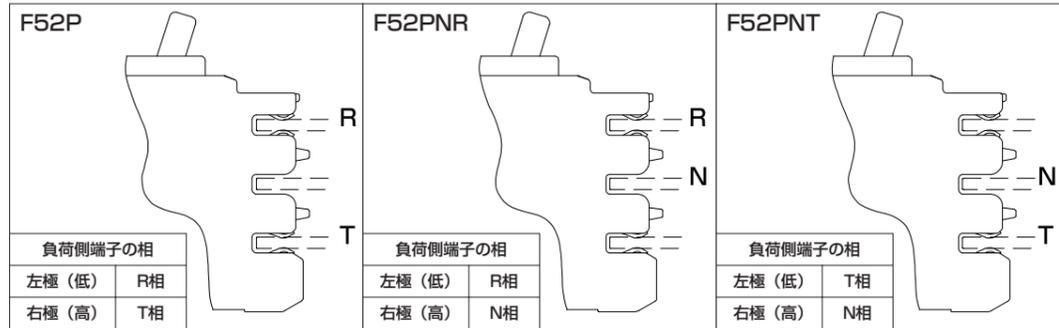
電話：(03)5847-8060

FAX：(03)5847-8182

URL <http://www.fujielectric.co.jp/fcs/>

## プラグイン形の取扱い

### 1. 電源側プラグと負荷側端子の配置



### 2. 定格使用電圧

形式	極・素子数	定格使用電圧
F52P	2P, 2E	AC240V
F52PNR F52PNT	2P, 1E	AC100V

### 3. 負荷側電線サイズと締付トルク

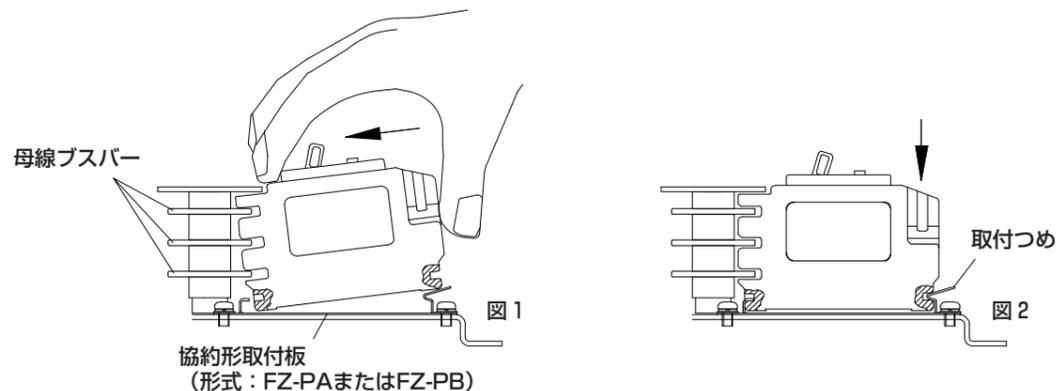
定格電流	端子ねじ径	接続可能電線	標準締付トルク
15A, 20A	M5 角座付	単線：φ1.6~2.6mm より線：2.0~5.5mm <sup>2</sup>	2.3~2.8N・m
30A		単線：φ2.0~3.2mm より線：3.5~8.0mm <sup>2</sup>	

\*より線を接続する場合は圧着端子のご使用をお奨めします。

### 4. 取付け・取外し

#### \*取付け

遮断器本体のハンドルをOFFさせ、電源端子を母線ブスバーに斜め方向から合わせ（図1）、本体をゆっくりと押し込み、止まった所で本体負荷側を取付板に押し込んでください。取付つめの掛かりが甘い時は、取付つめを上方に引き上げ、本体の溝に確実にはめ込んでください。

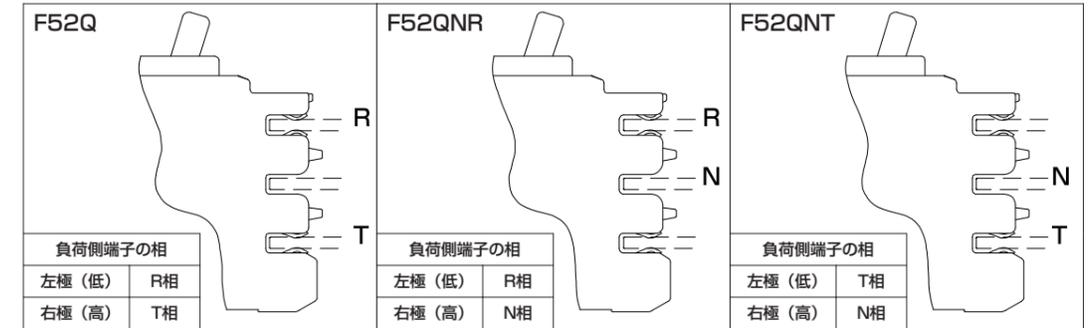


#### \*取外し

遮断器本体のハンドルをOFFさせ、電気がきていないことを確認した後、本体負荷側の電線を外し、図2に示す取付つめを押し下げながら本体の負荷側を軽く持ち上げ、取付時と逆の要領で引き抜いてください。この時、必要以上に本体を持ち上げると電源端子が破損するおそれがありますのでご注意ください。

## クイック形の取扱い

### 1. 電源側プラグと負荷側端子の配置



### 2. 定格使用電圧

形式	極・素子数	定格使用電圧
F52Q	2P, 2E	AC240V
F52QNR F52QNT	2P, 1E	AC100V

### 3. 負荷側電線サイズと圧着端子

定格電流	接続可能電線	適合圧着端子
15, 20, 30A	単線：φ1.6またはφ2.0mm	不要（直接続）
	より線：1.25mm <sup>2</sup>	TC-1.25-20 ニチフ端子工業社製
	より線：2.0mm <sup>2</sup>	TC-2-20 ニチフ端子工業社製
	単線：φ2.6, より線3.5~5.5mm <sup>2</sup>	TC-5.5-21ST ニチフ端子工業社製

### 4. 取付け・取外し

左頁プラグイン形と同じ方法で行ってください。

### 5. 電線の接続

- ・本器のストリップゲージに合わせ、電線の被覆を18mm 剥いてください。
- ・電線挿入口から45度下方に向けて電線を差し込んでください。
- ・電線が接続充分な所まで差し込まれるとカチッと音がして電線接続完了ボタンが表面に突出します。ボタンが完全に突出しない時は接続が不十分です。発熱・発火の原因となりますので接続し直してください。
- ・電線が止まる所まで十分に差し込んでください。
- ・本器に強い衝撃や振動が加わると、電線接続完了ボタンが表示(突出)状態になることがあります。電線挿入前に電線接続完了ボタンが突出している場合は、一度押し込んで状態を復元させてから電線を挿入してください。

### 6. 電線の取外し

- ・電線接続完了ボタンをドライバーなどの工具で図3の矢印方向いっばいに押し込んだままの状態を電線を引き抜いてください。
- ・引き抜き操作を中断した場合はそのまま放置せず、一度完全に引き抜いてから再度挿入してください。

### 7. その他の注意事項

- ・挿入する電線は、先端が鋭利にならないよう切断してください。また、できるだけまっすぐに成形してから挿入してください。
- ・圧着端子を使用する場合は、必要に応じ圧着部の絶縁処理を施してください。
- ・圧着端子は必ず指定されたものをお使いください。指定外品のご使用は発熱・発火の原因となります。

図3

